



今後村田製作所によって整備される西綱木の里山林

森林づくり活動に取り組みたい企業などと、森林所有者とを県が仲介し、里山林の整備を行う「みやぎ里山コモンズ・パートナーシップの森づくり」(コモンズ＝共有の資源)協定締結式が1月20日、市役所庁舎で行われました。

協定を結んだのは(株)登米村田製作所(追)と米川生産森林組合(東和)で、平成28年3月までの5年間にわたる組合の所有する里山林の整備に取り組みます。

# 企業と組合が協力し森を作る 里山コモンズ・パートナーシップの森づくり

活動場所となる里山林は、東和町米川字西綱木地内の森林35・65畝。パートナー協定は県内11件目で、県内最大の活動規模となっています。

登米村田製作所では里山林を「ムラタの森」と命名し、5月中旬から社員やその家族が、ヤマザクラの植林、下刈、間伐などの森林整備や、山菜やキノコなどの生育環境の整備に取り組み予定としています。

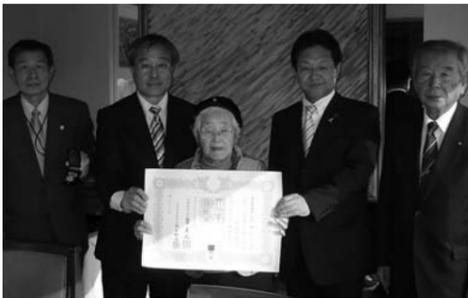
協定締結式では、宮城県環境生活部自然保護課の職員から事業についての概要が説明された後、(株)登米村田製作所の佐藤工場長と米川生産森林組合の及川組合長が協定締結書に署名しました。

締結後、佐藤工場長は「これは、社員提案から実現されたもの。知識や技術を支援し



相互の協力を誓った佐藤工場長(左)と及川組合長(右)

てもらいながら、次世代に継続できるように社員一丸となつて取り組みたい」と述べ、及川組合長は「共に山作りをできることをうれしく思います。社員いこいの場として活用してほしい。そのための組合の協力は惜しみません」と、今後の協力を相互に誓い合いました。



内閣府から紺綬褒章が授与された高倉かつ子さん

## 文化活動や教育の一助に

公益のための功績が認められ「紺綬褒章」を受賞

公益のために私財を寄付した個人や団体に国から授与される紺綬褒章が、美術館を建設・寄付された高倉かつ子さんと、若者の育成へと500万円を寄付した上杉恭弘さん2人に授与されました。



市に寄贈された「高倉勝子美術館」

高倉さんは、本市出身で、仙台市在住。平成21年10月に「文化活動に役立ててほしい」と、登米町寺池地内に美術館を建設・寄付し、市の芸術文化の振興に多大な貢献をされました。

伝達式は2月6日に行われ、市長から、紺色の記章と木杯が伝達されました。

また、迫町で皮膚科医院開業の上杉さんは「若者の就学の援助のために」と、平成17年から毎年500万円を寄付し、勉学に励む若者への就学支援や教育文化の振興に多大な貢献をされています。

市では寄付金を原資に「上杉奨学金」を創設し、次世代を担う若者の育成に役立てています。

## マンガ文化を楽しく体験

石ノ森章太郎記念館  
石ノ森章太郎メモリアルデー



マンガの魅力や想像力に触れる「マンガ教室」

郷土を代表する漫画家、石ノ森章太郎さんのマンガ文化に対する偉業を継承していくことを目的にした「石ノ森章太郎メモリアルデー」が1月30日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。



「演じる」「描く」の立場から仮面ライダーを語る

これは、章太郎さんの誕生日(1月25日)および逝去日(1月28日)が共に1月であることから、1月下旬の日曜日に毎年開催しています。

当日は、マンガ教室や親子たこ作り教室、もちつきなどのイベントが行われ、大勢のお客さんでにぎわいました。また特別企画として、仮面ライダー1号の本郷猛役を務めた俳優の藤岡弘さんと漫画家の村枝賢一さん(代表作「仮面ライダーSPIRITS」)、「俺たちのフィールド」(など)を招いてのトークショーが行われました。会場には大勢の観客が詰めかけ、藤岡さんの夢に対する熱い思いや、村枝さんの軽妙なトークを楽しみました。

# 新たな取引先を求めて

## 登米・栗原ビジネスマッチングin登米

厳しい経済情勢が続く中、企業の新規取引先の開拓や企業のPRのため、受発注企業が一堂に会し商談を行う「登米・栗原ビジネスマッチングin登米」が2月2日、登米総合体育館で開催されました。

この事業は、市内企業支援の一環として市と市産業振興会が協力して開催したもので、今年で2回目になります。



商談ブースで各受注企業が自社の商品や会社をPR

今回は栗原市と共同で開催され、首都圏からの3社を含め、発注企業29社、両市から受注企業81社が参加するなど、会場は多くの参加者でにぎわいました。

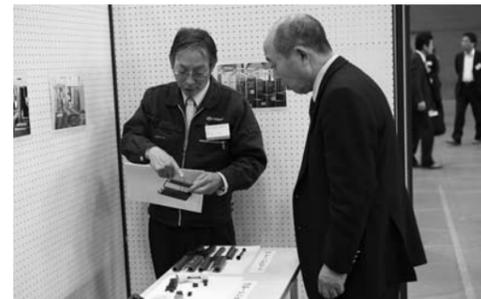
開会セレモニーでは、布施市長が「登米・栗原両市の生産力向上のためにも、この事業をきっかけとして、生産・販売ネットワークの構築や新たなビジネスパートナーを見つけると、受注拡大へ向けた取り組みが進むことを期待します」とあいさつしました。

会場では、受注企業が発注企業の商談ブースを回って個別商談を行うなど、自社商品や企業の技術力をアピールしました。

また、終了後は交流会も開催され、参加企業間で、情報交換や交流が行われました。



登米・栗原両市から発注・受注会社110社が参加



展示ブースで商談や情報交換を行う参加企業